

"Week UP" で学校生活をUp!

～委員会と学級が連動し、お互いに関わりながら学校生活の向上を目指す～



令和3年度のロゴデザインは3A〇〇〇〇さんが考案しました。

各委員会・学級の取り組み内容

委員会	目標
代表	忘れ物を本気でなくそう。
環境	2分前学習を意識しよう。
文図	朝読書の時、2分前には本を読むことができるようにしよう。
体育	移動・整列をすばやくしよう。
放送	取り組みの達成状況を共有しよう。
学級独自目標	
1年生	あいさつ・返事の声を大きくし、しっかりと反応する。
2年生	時間を見て行動しよう。
3年生	授業態度をよくしよう。

昨年度から、生徒会が企画し実施している「Week UP」の取り組み。今年度も継続して行います。これは、各委員会と学級が設定した、学校生活を向上させるための目標に対し、毎日達成できたかどうかを記録し公表していくものです。それぞれの目標に対して評価規準を設け、それに沿って評価します。例えば代表委員会が定めた目標「忘れ物を本気でなくそう」であれば、「帰りの会で忘れ物点検を行い、学級全体で5個以下であれば目標クリア」となります。



令和3年度 学校だより

第4号

【前文】先人の熱いこころを受け継いでふるさとに生きる力を育む

【教育目標】

真理を探究する人
友情を大切にする人
創造し実践する人
健康で明朗な人

【教育推進スローガン】

自立・感謝

新中版 新しい生活様式 Ver.3

大切なのは **強い意識** と **継続すること**

1 一人ひとりの基本的感染対策（常に心がけること）

- ☐ こまめに手洗い・手指消毒を実践する。
- ☐ 咳エチケットの徹底。
- ☐ 「3密」を回避（密集、密接、密閉）する。
- ☐ 人との間隔は、できるだけ空ける。（1人以上）
- ☐ 会話をするときは、できるだけ真正面は避ける。
- ☐ 登下校時も含め、常にマスク着用する。
- ☐ 家に帰ったらまず手や顔を洗う。できるだけすぐ着替える。
- ☐ 毎日入浴もしくはシャワーを浴びる。
- ☐ 手洗いは30秒程度かけて水と石鹸で丁寧に洗う。

感染防止の3つの基本

- ①身体的距離の確保
- ②マスクの着用
- ③手洗い感染防止

2 学校生活を営むうえでの基本的生活様式

- ☐ こまめに教室の換気。 ☐ 昼休みはできるだけ広い場所を使って遊ぶ。 ☐ 身体的距離の確保。
- ☐ 登校前の体調チェック。登校時は必ず手指消毒をする。 ☐ 毎朝の体温測定、健康チェック。
- ☐ 特別教室の入室前と退室後は必ず手を洗う。 ☐ 他人の私物や衣服、体への接触は極力避ける。
- ☐ 発熱や風邪の症状がある場合は無理せず自宅療養。

3 学校生活各場面の生活様式

<授業>

- ☐ 座席は1人以上離す。
- ☐ 原則として、全員が同じ方向を向く。
- ☐ 常に換気扇を運転する。
- ☐ 休み時間は窓と扉を開けて5分間強制換気を行う。
- ☐ 話し合う場面や作業など、フェイスシールドやマウスシールドを適宜活用するとともに、短時間で行う。

<給食>

- ☐ 手洗い等で並ぶときは前後左右の間隔を空けて待つ。
- ☐ 手洗いで待つときや給食の配膳、片付け時、喫食時間は私語をしない（黙食）。
- ☐ 盛り付け担当者はエプロンと三角巾を着用。体調チェックは必ず行う。

<部活動>

- ☐ 練習前の手洗い、練習後の手洗いがいがい必ず行う。
- ☐ 原則、マスクを着用して行う。
- ☐ 身体接触がないメニューで活動する。
- ☐ 大声を出すことを控える。
- ☐ 使用した共用の用具を適宜消毒する。

<休み時間>

- ☐ トイレ、手洗い待ちで並ぶときは前後左右の間隔を空けて待つ。
- ☐ 使用しない時はできるだけドアを開けておくなど、トイレの換気扇を常時行う。
- ☐ 友人同士の会話の場面では身体的距離を保ち、大声を出さない。

<集会など>

- ☐ 人との間隔を十分空ける。
- ☐ 換気のために扉での換気、換気扇の稼働を行う。
- ☐ 集会の時間は45分以内で行う。
- ☐ 入退場の際の人の間隔を十分空ける。

<スクールバス>

- ☐ マスクを必ず着用する。
- ☐ できるだけ会話を避ける。
- ☐ できるだけ座席を離して座る。

自分とみんなを守るために 今私たちができること

新型コロナウイルス感染症への 本校の対応について

新型コロナウイルス感染症の感染状況が予断を許さない状況になっています。石狩管内においても感染者数の増大やクラスターの発生が複数

今年度は前後期それぞれ3回ずつ、計6回予定しており、1回目の実施期間は5/17～5/21となっています。全校生徒が、自分たちで決めた目標の達成に向けて強い意志でのぞみ、学校生活を今よりも向上させるよう努力する姿が楽しみです。

確認されている状況です。14日（金）には北海道において緊急事態宣言が発令されました。そのことを受け、本校での対応についての文書を、本日付で発出しました。行事に関することや部活動に関することなどを整理してお伝えしたところです。

また、左にあるように「新中版 新しい生活様式」を作成し、これをもとに昨年5月から生徒への指導を行っています。今回の感染拡大を受け、そのバージョン3を、あらためて作成しなおしました。

医療体制もひっ迫している折、今一人ひとりが「感染しない・させ



ない」の思いを強くしてじつところ
える時だと思えます。学校でも、生
徒一人ひとりに対して、今できるこ
と、今なすべきことをしっかりと指
導していきます。ご家庭でもご留意
を頂けたら幸いです。

春の避難訓練を行いました

5月12日（水）の5校時に、春の
避難訓練を行いました。地震がおき
た後に火災が発生するという設定で
訓練しました。

まず地震発生を前提に、放送によ
る指示で机の下に身を隠し、その状
態を保つ訓練を行いました。その後、
校内検索の結果、火災の発生を確認
したという想定で、校舎外への避難
訓練を行いました。

生徒の行動は大変立派で、私語な
くスピーディーに避難することがで
きていました。避難場所に着いてか
ら、訓練全般に対する講評を聞き、
訓練等で得た知識を実際の場におい

て行動できることの大切さを確認し
ました。

前期生徒総会で 活動計画承認

5月14日（金）の5校時に前期生
徒総会を行いました。新型コロナウイルス
感染症の感染状況悪化のため、

体育館で一堂に会し
て行うことはせず、

情報処理室と各教室
をオンラインで繋い
で実施しました。

委員長の皆さんか

ら、各委員会の前期

活動計画が提案され、各学級から出
された質問や意見等をもとに審議し
ました。オンラインという



新篠津中 いじめ撲滅宣言

- いじめを未然に防ぐために
自分の気持ちだけではなく、相手の気持ちも考え、思いやることを忘れないよう
にしましょう。そして、いじめがどういうことなのか改めて考えてみましょう。
- いじめているあなたへ
いじめはすぐにやめましょう。いじめは相手や自分の将来を暗くしていきます。
二度と繰り返さないように深く反省しましょう。
- いじめられているあなたへ
嫌なことをされたら、誰でもいいので、勇気を持って周りの人へ相談しまし
う。あなたの味方は必ずいます。
- いじめを見ているあなたへ
見て見ぬふりをするあなた。あなたもいじめているのと同じです。勇気を出して
止めましょう。また身近な人に相談しましょう。
- まわりの大人の皆さんへ
私たちの助けて欲しい気持ちに気付いてくれますか？大人のみなさんに声をか
けてもらえると私たちは安心します。いざという時、私たちを助けてください。

最後に 以上のことを守り、私たち生徒全員はいじめを未然に防ぎ、より過
しやすい学校にしていきます。そして生徒全員でいじめのない新篠津中学校を作り
上げていくことを誓います。



難しい環境の中でも、これ
までの経験が生きたしっか
りとした総会運営でした。
前期活動計画は本総会で正
式に承認され、いよいよ本
格的に生徒会活動が始まり
ます。

総会の後段ではいじめ撲
滅宣言（左上）が生徒会書
記局より提案され、全会一
致で採択されました。一人
ひとりが他人の気持ちに寄
り添いながら生活をするこ
とを誓い合いました。思い



やりのある素敵な集団として成長す
ることを願っています。

修学旅行事前学習始まる

7月に実施を予定している修学旅
行の事前学習が始まりました。SDGsを
ベースに、探究学習を深めることを
目的に、今年は道内（十勝方面）の
旅程を計画し、準備を進めています。

その事前学習（今回の学習では事
前学習を「旅マエ」と呼んでいます。）
を5月12日（水）と14日（金）に行
いました。修学旅行取扱業者である
東武トップツアーズの熊谷さん、浦
幌町で個々の探究学習をサポートし
てくださる「うらほろ楽舎」の小松
さん、そして新篠津中学校3年生が
オンラインで結ばれました。今回は
訪問先の一つ、浦幌町の事を知るこ
とを目的に学習が進められました。
今後、旅マエの学習を深めていき、
思い出に残る旅行（旅ナカ）と充実
したまとめ学習（旅アト）に繋げて
いきたいと考えています。